

*** 国民読書年記念 ***

図書館と県民のつどい埼玉2010報告



平成22年10月2日(土)にさいたま市文化センターで、「図書館と県民のつどい埼玉2010」が開催され、合わせて1,751名の方が参加されました。
 午前の部の記念講演は、落合恵子氏をお迎えし、「本と出会う楽しみ 再会する喜び 知り合う深さ」と題してお話いただきました。
 落合恵子氏が子どものための本の専門店「クレヨンハウス」を始めたきっかけや、そこから派生して、子どもに関わる総合保育の雑誌『クレーン』、女性の本の専門店、有機農法の八百屋まですることに至ったお話。出会った人々と心に響く言葉、素敵な音楽・絵本、そしてお母様のことを真摯に語っていただきました。
 参加した方々の感想の一部をご紹介します。

「はっ」とさせられることも多くあり、とっても良いお話を頂きました。ありがとうございました。

音楽と本は似ているというお話と読み聞かせが心に響きました。

深い内容で心にしました。

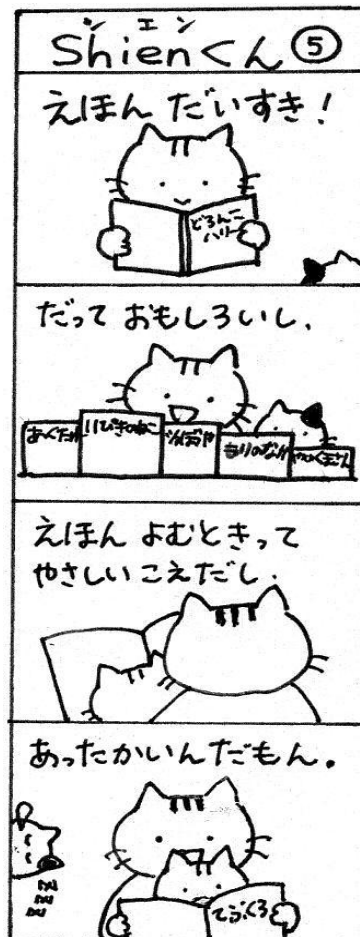
弱い者、弱った心にベースを置いた話は、心の底に響いてきて、講演の最初から最後まで目がうるみがちになった。しかもしみりするだけでなく、元気づけてくれる。

そのほかに高校図書館・大学図書館などの展示、午後は子ども読書活動交流集会の4つの分科会(シンポジウムや読み聞かせの実技編など)が行われました。

大変すばらしく、生きることを本を愛することを、励ましていただきました。

年を取ることが怖くなくなりました。お話を聞いてとても励まされました。

今日の話は、文章に記されていても共感したろうが、こうして本人の息づかいとともに聞いたこと、笑顔に近くで接したことは、かえがたい記憶になる。



読み聞かせ・ストーリーテリング
初心者向け研修会に講師を派遣します
 (読み聞かせボランティア団体のための講師派遣)
 絵本の読み聞かせやストーリーテリングの初心者向け研修会に、埼玉県立久喜図書館で養成したおはなしボランティア指導者を派遣します。
 研修会の開催方法は県立久喜図書館がサポートいたしますので、お問い合わせください。研修会開催の1カ月前までにお申し込みください。
 申込み方法・ご案内：県立久喜図書館子ども読書推進担当 TEL：0480(21)2659
https://www.lib.pref.saitama.jp/stplib_doc/ko_shien/shien1.html

編集後記
 この春、新たな生活をスタートする方々……。そのスタートを心から喜び、応援し、見守っている人が沢山いることをお忘れなく！そしてあなた自身も、自分らしさを忘れることなく大切に！(N)

編集発行 埼玉県立久喜図書館
 子ども読書支援センター
 協力 子ども読書支援ボランティア
 埼玉県立図書館のホームページ 「子ども読書支援サービス」
<https://www.lib.pref.saitama.jp/>
 〒346-8506 埼玉県久喜市下早見85-5 彩の国
 TEL 0480(21)2659 (代) 埼玉県
 FAX 0480(21)2791

Shien 第11号

子どもの読書に関わる大勢の方の活動とネットワークを支援(Shien)するそんな大きな願いをもったささやかな情報誌です。
 平成23年3月15日 発行
 埼玉県立久喜図書館 子ども読書支援センター

《目次》

- 「だから、『おはなし』はやめられない」・・・1
- 連載：おはなし・読み聞かせ実践講座⑪・・・1
- 連載：子ども読書支援関係ボランティア団体等紹介⑪・・・2
- 新聞・雑誌クリッピング担当から・・・2
- ブックリスト担当から・・・3
- インターネットからの情報収集担当から・・・3
- 図書館と県民のつどい埼玉2010報告・・・4
- 読み聞かせボランティア団体のための講師派遣・・・4

だから、『おはなし』はやめられない

ストーリーテリングを始めてもう36年になります。仕事として、ボランティアとして、図書館・小学校・子供会・公民館・文庫・勉強会・・・いろいろなところでお話を語ってきました。近頃は老人会でも語っています。一番たくさん語ったのは何かしら？『かえるの王さま』は何回語ったかしら？記録を付けておけば良かったと、つくづく思います。
 子どもたちはお話が大好きです。題名を言った時に「知ってる知ってる」と騒いだ子が一番よく聞くというのは、皆さん経験なさっているでしょう。聞く気がないような顔をしていた子が、おはなしが進むにつれて身を乗り出してくる、という経験もお持ちですよ。
 先日、近くのスーパーで2年生の女の子に大声で「あ、頭のないおばちゃんだ！」と指差されました。一緒にいたおかあさんが「そんなこと大きい声で言うもんじゃありません」と小声で注意したのが聞こえてきて、どんな顔をすればよいのか困りました。そう、もちろん小学校で『エパミナンダス』を語った後だったのです。その子に手を振りましたが、おかあさんはどんな想像をしたんでしょうね。
 こんなことがあるから、楽しくて楽しくて『おはなし』を語り続けようと思います。
 青木淳子(『キラキラ読書クラブ』著者、おはなしボランティア)



おはなし・読み聞かせ実践講座 ⑪

今回は浦和子どもの本連絡会の方による、おはなし会を行う上でのワンポイント・アドバイスをお届けします
おはなしの前にわらべうたを歌って手あそびをしています。
 図書館や小学校のおはなし会では、おはなしを始める前に手あそびをしています。おはなし会では、子どもたちがくつろいで、らかな気持ちで聞いてくれること、話し手に向かって、心を開いてくれることが望ましいのですが、その時、わらべうたを歌って手あそびをすると、話し手と子どもの距離が縮まって、集中でき、おはなしを聞く心の準備ができるようです。
 では、おはなし会でよく使うわらべうたを二つ紹介します。

♪ てんやのおもち

① 右手で左手の平をたたき、次に自分の腿をたたき。これを繰り返す。
 ② あんこちよいと のところだけ2回続けて自分の手の平をたたいてから自分の腿をたたき。
 ③ 右手の平が上になって終わるので、「くるっ」と言ってひっくり返して、今度は左手で右手の平をたたき、次に自分の腿をたたき。これをくり返す。終わったらまた「くるっ」と言って①の動作をする。少しずつ早くしていく。(ひっくり返すバージョンは中高学年に喜ばれます。)

♪ スッテンテレツク

① 「スッテンテレツク」は2回両手打ちする。
 ② 「てんぐのめん」は握りこぶしを鼻の上に重ねる。
 ③ 「おかめ」は両頬へ握りこぶしをつける。
 ④ 「ひよっこ」は口のところで重ねる。
 ⑤ 「はんにゃのめん」は両手の人差し指を立てて頭の上に角を作る。
 浅香都子(浦和子どもの本連絡会)

カリオン文庫 (埼玉県立小児医療センター ボランティア) 子ども読書支援関係ボランティア団体等紹介 ⑪

カリオン文庫は埼玉県立小児医療センターの入院患児に本の貸出・おはなし会を届ける活動をしています。

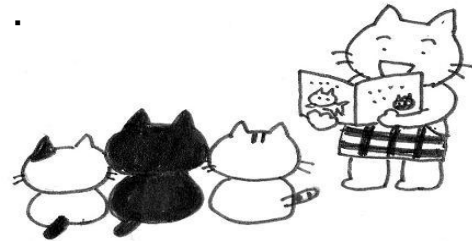
20数名のボランティアで、6病棟を回っています。

火曜日コースは 第2・4の隔週 } 計 月6回
木曜日コースは 毎週

1人月1回のローテーションを組んで、無理のないよう続けています。
2台のブック・トラックを押して各病棟をめぐり、子ども達に自由に本を選んでもらい、多いときには100冊以上の貸出数があります。おはなし会は、昔話を中心にストーリーテリング・絵本の読み聞かせ・わらべ歌等を組み合わせ、楽しい時間を共有します。

1985年から始まり、25周年を迎える事ができました。
少しは自慢できる年数では…とっております。

♪木曜日コースのボランティアさん募集中!
(文庫の経験のある方、子どもと子どもの本が好きな方)
A.M. 10:30~12:00 P.M. 1:15~2:30 1人月1回
Tel.048(974)2462 東海まで(交通手段は蓮田駅よりバス)
篠塚邦子 (埼玉県立小児医療センター ボランティア)



使えるブックリスト



「10分以内の本」(冬)におすすめのリストができあがりました。埼玉県立図書館のホームページをご覧になった方もいると思いますが、リストより一部ご紹介します。

低学年

『タテゴトアザラシのおやこ』
結城モイラ文/福田幸広写真/ポプラ社
『いいことってどんなこと』
神沢利子文/片山健絵/福音館
*『タテゴトアザラシのおやこ』は、子ども達をひきつける写真の科学絵本です。合わせやすいので、好きな物語絵本と組み合わせても良いと思います。

中学年

『1こでも100このりんご』
井上正治文/岩崎書店
『ひつじかいとうさぎ(ラトビア民話)』
うちだりさこ再話/すすきこうじ絵/福音館書店
*2011年は「うさぎ年」身近な話題を昔話で楽しんでみては?

高学年

『富士山にのぼる』
石川直樹著/教育画劇
*ダイナミックな富士山の写真。作者と一緒に登ってみませんか?

中学生

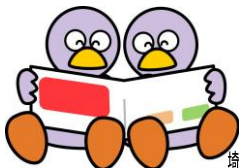
『いとよ すをつくるさかな』三芳梯吉さく/福音館書店
『きらきら』谷川俊太郎文/吉田六郎写真/アリス館
*「いとよ」は父親が子育てをする魚です。埼玉県には「いとよ」のなかま「ムサシトミヨ」がいます。美しい写真と詩の本『きらきら』と一緒にどうぞ!

今回も、プログラムには入れていませんが、ご紹介したい本があります。

★おまけの本★
『どうしてそんなかお? 虫』有沢重雄文/今井桂三/アリス館・・・小学生
『壺の中』安野雅一郎文/安野光雅絵/童話屋・・・中学生
『おしゃべりな森』野呂希一文・写真/講談社・・・共通
お気に入りがありましたら、ぜひ自分のリストの中に入れてみてください。
二橋 (子ども読書支援ボランティア)

Nice to meet you!
子ども読書支援ボランティアです。

埼玉県立図書館のホームページ
<https://www.lib.pref.saitama.jp/>
「子ども読書支援サービス」のページ



きりめき羅針盤

新聞・雑誌クリッピング担当から

今回は、上野の国際子ども図書館で開催された「日本発☆子どもの本、海を渡る」の記事をご紹介します。

〈産経新聞 2010.3.8 朝刊 12面、朝日新聞 2010.3.21 朝刊 30面、読売新聞 2010.3.27 夕刊 7面、毎日新聞 2010.9.2 朝刊 23面掲載〉

この展示会は、開館10周年と国民読書年を記念して、2010年2月20日(土)から9月5日(日)まで開かれました。
日本の児童書は、30カ国以上で翻訳され海外でも広く読まれています。

1950年代に翻訳されたのはわずか3件ですが、2000年以降では約3000件になっています。国別にみると、80年代までは欧米が中心で、90年以降になるとアジアでの出版が多くなりました。

「それぞれの国で変化した絵本の姿を楽しんで」(産経)・「作品の絵や表紙をただで、生活習慣や活字文化の違いもわかる」(読売)とあるように、お国柄により文や挿絵が微妙に変化しています。本の形態も変わるというのが面白いですね。

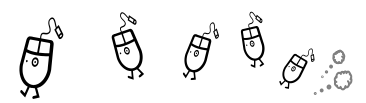
「おふろだいすき」「くまの子ウーフ」の人气が高く、最も多くの国で出版されているのは「窓際のトットちゃん」とか。

海を渡った子どもの本は、近くの図書館や書店にあたりします。気付いたらぜひ手にとってみてください。また、海外に出かけた折に書店に立ち寄ると、思いがけない出会いがあるかもしれません。

仁昌寺 (子ども読書支援ボランティア)



知っ得情報!



インターネット情報からの情報収集担当から

*** おすすめHP(ホームページ)の紹介 ***

- よみママクラブ <http://www.kokoro-education.com/yomima>
練馬区立野小学校の読み聞かせママのHP。活動内容、読み聞かせの方法や読んだ本のリストなど。
- 虹色ポケットの絵本読み聞かせ大好き <http://nijihiro.ti-da.net/>
沖縄市立諸見小学校の読み聞かせボランティア・サークル「虹色ポケット♪」のブログ。活動の様子を写真で紹介。
- 野はら花文庫 <http://homepage3.nifty.com/mioyuki/index.html>
図書館、保育園、幼稚園、小学校で読み聞かせボランティア実践している方のHP。色々な年代の絵本を紹介。
- 絵本や昔話の読み聞かせ <http://ehon.find21.net/yomikikase/>
さくらこさんの絵本・昔話・児童文学・子供の心・読み聞かせ・図書ボランティアなどに関するHP「さくらこの絵本とおはなしの世界」内。読み聞かせの効用など。

インターネットが身近になったお母さん世代が、学校単位や個人で読み聞かせのページやブログを開設しています。読み聞かせの活動の様子や読んだ本に対する子どもの反応など、参考になります。

坂本 (子ども読書支援ボランティア)